

## 令和6年度 第4回 学校運営協議会議事録

令和7年2月5日（水）

9：30～11：30

場所：会議室 記録：山本

### 1 開会（副校長）

令和6年度第4回学校運営協議会を始めます。本日、池谷委員、梶浦委員、芹澤委員は、欠席です。

### 2 校長挨拶

業務多用の中、お越しいただきありがとうございます。本日が、今年度最後の学校運営協議会であります。沼津特別支援学校には、伊豆田方分校と愛鷹分校がありまして、昨日は、伊豆田方分校の学校運営協議会が行われました。3校それぞれ、学校評議委員会から学校運営協議会に名称や内容が変わり、取り組み方が変わってきたなかで、年数を経て非常に熟してきました。皆様の御協力のおかげで運営協議会自体が変わってきた実感があります。この後報告がありますが、地域の皆様のおかげで本校は非常に教育活動が充実してきています。保護者の評価でも、うれしく思っていることが随所にありました。この学校をさらにステージアップしていこうすることで、本日御協議いただきますが、いろいろな視点をもって学校運営協議会の方に御助力いただくなかで、沼津特別支援学校を上手に使ってもらおうという視点で、いろいろなアイデアをいただいたり、協働について考えていただいたりしたいです。

内閣府から、福祉避難所について、地域から特別支援学校に協力要請があれば特別支援学校は応じてくださいという話がありました。地域の福祉の拠点として上手く活用いただくということ、居場所作りという点での活用を考えてもらえるといいです。秋田市では、小学校の統廃合が進むなか、0歳から100歳まで集える場所ということで、学校が一つの場所となって、そこを中心に医療や福祉が集まっていくといった取組が進んでいます。そこまで大々的なことでなくても、学校をうまく活用していただき、地域が豊かになっていくという視点を持っていただけるとありがたいです。

原地区の社会福祉協議会のボランティアグループの方が、定期的に学校の雑草取りをしてくださっています。ここにしか生えてない野草があるようで、嬉しそうに話していただきます。学校としてはありがたく、また、そういった会話の場になっているということを考えると、現在やっただけのことをそういった視点から整理していくことが改めて必要だと考えます。多様な視点が考えられますが、今年度の学校運営協議会の取組の成果と次年度に関する課題ということで、皆様には忌憚なく御意見をいただきたいと考えています。本日は、よろしくお願いします。

### 3 協議 （司会：会長）

（委員）議員の出席が少ないが、御意見を出していただき、実りある会になるように努めていきます。

#### （１）第２回の「地域貢献」という視点からの教育活動及び地域と連携した本校の防災体制の在り方に係る報告

##### <小学部>

9月10月は、地域の方に来ていただき、関わる活動ができました。それ以降は地域のものを活用する学習で、地域に出かけていく機会が多くなりました。小学部としては、地域を歩いたということが、地域貢献になっていると考えます。散歩クラブでは、近くの公園に出かけていき、学校にはない遊具や野原で楽しみました。

『がんばったね会』の学習で、近くのお店へ買い物に出かけるときは、すれ違う人に「買い物行くの？」と声をかけていただきました。「行ってきます」「行ってきました」という会話が生まれています。また、横断歩道を渡る際も、温かく見守って待っていただけます。近くにいろいろなところがある良い環境です。

5年生の『町探検に行こう』では、学校周辺を歩いて、おもしろいなどと思ったものを見つけて写真を撮り、ここはどこでしょうクイズを作るといった学習も行いました。原地区の面白いなど思うところを生かした学習を楽しんでいました。地域の方に見守っていただきながら、学習が充実してきています。

##### <中学部>

エコ美化委員会では、アルミ缶をつぶして、福祉事業所マムに納品させていただいています。マムさんが収益金を東日本大震災の義援金として送っているそうです。エコ活動が慈善事業につながっているという学習もしました。以前は作業学習の時間に、リサイクル班がアルミ缶つぶしの作業を行い、リサイクル業者に納品していました。

また、SDGsに関するマーク探しを校外に出て行った学年もあります。街探検のような活動です。小学部で培った力を生かして、発見する力や気付く力を高め、発見できた感動を味わいました。このような学習を行うことで、小学部からの学習が積み重なって、生徒の力となっています。校外の人とモノを介してつながったり、校内だけでは学べないものを活用したりすることが、学習の幅を広げ、人との関わりを深めることになります。学校にとって地域は大事な存在であると思います。

##### <高等部>

前期に引き続き、地域のモノ、場所、人を活用した学習を行いました。沼津工業高校との交流では、ものづくり交流をしました。一緒に作る中で、自然と生徒同士が関わることができ、充実した学習となりました。また、ゲストティーチャーを招いた学習を行い、高3は、いよいよ社会に出ていくということで、消費者出前講座や医療機関との関わり講座を行いました。校医さんに来ていただいて、実際の問診の仕方や薬のもらい方を学びました。家庭科では、地域を学ぶといった意味も含め

てお茶講座（JA ふじ伊豆）、出汁講座（柳屋本店）を行いました。さらに、沼津市一斉クリーン作戦に、今年も参加しました。回を重ねるごとに、生徒会が中心になって参加し、地域の活動に出るんだという積極性が見られるようになりました。

クリーンサービス班は、ものづくりではないので販売がなく、高等部バザーでは実演をし、お客さんに喜んでいただきました。また、地域での清掃活動も行わせていただき、地域の方に喜んでいただく機会があり、生徒も自信をつけることができました。

（委員）地域貢献という視点で話していただいた。感想を聞かせていただきたい。

（委員）孫みたいに接することもあるが、お子さんと話すことも少ないので、私たちも若返ると思っている。今後もよろしくお願いしたい。

（委員）ちょっとした会話、アイコンタクト、ちょっとした触れ合いが地域にとっては大事である。「こういう子たちが学んでいる場なんだ」と知り、関心をもった人がボランティアに来るようになる。ちょっと出掛けたときに触れ合うことがいいことだと思う。交通安全に気をつけて地域に出掛けてほしい。

（委員）親として、オープンに地域に出る人もいれば、閉鎖的な人もいる。学校として地域に出て、人と関わっていることで、子供が積極的に地域に出ようとする気持ちになることは、親としてありがたい。そういうことを広げていくことで、障害児と触れ合っただけの人たちにも知ってもらえることできる。外に出ていくことはうれしい。

（委員）子供たちが外に出る時間帯は、地域に残っている方は高齢の方が多いかもしれないが、仕事で車を運転している方もいる。

SDGs の学習は私たちでも難しい。中学生の生徒にとって難しくないのか？

（中学部）一つ一つの意味の理解は難しいこともある。トイレのマークは誰が見ても分かるということで、SDGs につながった。身近にあるマークが、SDGs につながっているという学習をすると、積極的な学習につながる。

（委員）理解が難しいが、世の中の動きを知ることは大事である。

（委員）その時の状況に応じてフレッシュな出会いがあると興味を示す。興味があれば学びたいとなる。親の方がどうしても抵抗があるのかなと感じる。地域の我々もどうしてもワンクッション置いてしまう。この地域は一緒に行えるので、一緒になって声を掛け合い、相乗効果になっていきたい。ずっと続けていただきたい。

（委員）学校の様子を知ることができた。クリーン作戦は、地域の人と一緒に行動とよいのではないかと。協働作業すると PR にもなる。生徒も外の人と触れ合いながら活動をしていくことが、地域貢献にもなるのではないかと。

（委員）地域の高齢化が進んでいるので、ゴミ出しに困っている方もいるのではないかと。ちょこっとボランティアとして、ゴミ出しやごみ収集場所の掃除などの取組ができるのではないかと。

- (高等部) 原団地の清掃は、地域の方も参加してくださった。一緒に行くという部分の視点を広げていきたい。
- (委員) 一緒に活動した人に、ぜひ学校にもおいでくださいというPRができる。
- (委員) 野菜、木工製品、陶芸製品の販売があると嬉しい。人も来やすい。
- (高等部) バザーは、地域の方も制限なく来ていただける方法をとれるようになった。
- (校長) 販売の機会をもっと増やしてもいいかもしれない。
- (委員) 清掃班には、名刺を持たせて、裏に「バザーがある」などのPRを書いておくこともいいのでは。高校生はプライドをもって自分の仕事をしているので、名刺があってもいいのでは。
- (委員) 高等部の消費者出前講座の中で、子ども自身が犯罪に巻き込まれない、被害に会わないように安全教育が行われているのか？
- (高等部) そういった内容の学習をしている。18歳が成人となり、様々なことがターゲットとなってしまうので、高1から学習を進めている。
- (委員) 保護者の方にも学習した内容をお知らせするとよい。

#### <防災について> (副校長)

- ・地域の方に避難訓練を見ていただき、お褒めの言葉や意見をたくさんいただいた。
- ・安全に避難することに関して、子供たちが自主的に動くようになってきている。教員も毎回の訓練が自信になり、防災意識高まっている。
- ・3階に行くことが本当にいいのかは検討している。
- ・水が溜まってしまうことに関しては、保護者への連絡体制など、分かりやすい説明についても話を進めている。
- ・スクールバスの訓練は、校外の訓練も検討している。
- ・訓練を通して、子どもと職員の関わりをもつこと、安心して移動できるなどの関係づくりとなっているという意見をいただいた。職員にも周知し、訓練を行っている。

#### <福祉避難所について> (教頭)

- ・4月から沼津市の指定になれるように準備を進めている。一次避難所として、発災時すぐに避難できる場所となれば、保護者も安心できる。家族で避難してくるとなると、全員の受け入れは難しい面があり、本当に必要な人が避難できるようにしたい。また、体育館では生活が難しいと思っているので、教室を開放する計画をしている。一教室に二世帯程度の予定である。学校再開も考えると全部の教室を開放は難しい。
- ・沼津市長泉町清水町で話し合いを進めている。長泉町・清水町と協定を結ぶ予定であり、協定を結ぶと、二次避難所となる。初めは地域の避難所に行くが、それから沼特に来ることになる。来年度以降もよりよい運営方法を考えていきたい。

- (校長) 自治会の皆様、特に秋山さんが関心持って共有してくださった。とてもありがたい。埼玉県知事の会見から、有事の際は民間のパワーが必要となる。福祉避難所も、制度面や運営に地域の人々の協力が必要となってくる。

- (委員) 外へ出ている時の訓練、特にスクールバスとどう連絡を取るか確認しておく必要がある。
- (委員) バス会社も含めてどうしていくか考えていく必要がある。バスの中にいるときであれば掌握はしやすい。帰りはいろいろ散らばっていることが考えられる。こういう場合はどうするか考える機会をつくる必要がある。地震は必ず来る。
- (委員) 昔は沼津港に向かっているルートもあった。
- (校長) 事前のお願いが可能か。
- (委員) 避難場所になる可能性を伝えておく。駐車場が使えるか、最寄りの小中学校など、どの辺りに置けるか考えておく。
- (委員) 防災訓練での結果を親に伝えて欲しい。分かっているれば、足りないところは家で練習しようかと思える。消火訓練やスモーク体験の結果を知りたい。
- (校長) 個別の避難計画に、学校の活動を反映させていくことも必要かもしれない。
- (委員) 訓練したことが反映される。いろんなシチュエーションで考えておく。訓練のための訓練にならないようにすることが大切。
- (委員) 大事な課題であるので、細かいことを詰めて順調に進めていただきたい。

## (2) 第3回学校運営協議会(学校参観)の報告(副校長)

3人の委員の方に参観をしていただいて、感想や御意見をいただいた。内容は、以下のとおりです。

- ・子供達が落ち着いて活動できている、昨年度からの成長を感じた。
- ・一人ひとりに先生方が向き合って、子どもたちが安心して生活している。保護者も安心できるのではないか。子どもにとっても保護者にとっても活動が充実しているのではないか。
- ・人権への配慮を感じているが、子どもの思いに寄り添って意思決定する場を増やしていけるとよい。
- ・ICTを作業の時間に活用できるのではないか。  
(高等部) バザーの時には、アプリのレジを使用したり、写真を編集して動画を作り、作業や製品のPRに使用したりした。外部の販売の時には、製品にQRコードをつけてアンケートを作成し、アンケートをもとに次の製品開発に活かしていくという取り組みを試みた。初めは教員が作成したものであったが、生徒の端末を活用する力がついてきているので、生徒が作成している部分が増えている。先ほど出た名刺の話も含めて今後の活用を考えていきたい。
- ・中学部で行っている桃沢の自然教室の手伝いもできる。事前から当日の手伝いができればと思っている。
- ・いろいろな形で情報発信してほしい。
- ・学校間の交流は積極的に行われている。その取組が居住地域との交流にも理解が広がっていくような活動ができるとよい。

- ・運動会のような縦のつながりの取り組み、みんなでやる取り組み増やしていきたい。

(委員) 学校からの質問ですが、ICT の活用法について、他にも何かいいアイデアはありますか？

(委員) 今はキャッシュレス、タブレットで注文する時代。生徒の方が詳しいのでは。

(委員) 生徒はスマホを持っている？

(高等部) 校内では、1 人一台 iPad や Chrombook があります。自力通学している生徒は、スマホを持っている生徒もいます。校内では使用できないルールになっています。

(委員) デザインとか好きな子がいると思うので、LINE のスタンプ作成はどうか？地域への広がりが見られるのでは。支援学校の生徒が作ったデザインを、「自由に使っていいですよ。」というアピールする活動をしてもいいのでは。

(委員) 実習の報告会のパワーポイントは生徒が作っている？

(高等部) 生徒が作っています。

(委員) 情報発信をしてほしいという意見もあった。学校でも情報発信の方法をいろいろ工夫していると思うが。

(副校長) 現在の情報発信は、ホームページやおたよりが主ではあります。以前の運営協議会で、Instagram で動画を発信してはどうかという話がありましたが、今後 Instagram へと広げていく予定であります。こうした方がいいのではという御意見があれば教えていただきたい。

(委員) 個人情報に配慮しながら行えるとよい。情報は一旦広がると収まらなくなる。

(委員) 皇室も Instagram を行う時代。オープンでいい。使い方に十分に気をつけて活用していったほしい。

### (3) 令和7年度学校経営計画案について

(校長) ・来年度の第1回目の学校運営協議会で御協議いただいてから本校の正式な学校経営計画となる。今日の提示は、来年度の学校運営協議会として、どのように関わっていただくかをこの後協議していただくにあたっての説明とさせていただきます。

- ・来年度の本校の方向性としては、2つのキャッチフレーズを考えている。

1つ目は「確かなつながり」築いてきたものを確かなつながりにする。

2つ目は「リスペクト」職員集団がどんなチームの在り方かという目標を設定してチーム力を高めていく。その先は、児童生徒に対して、地域の皆様に対して、かかわるお互いすべてに対してリスペクトする。県の教育長も大事にしていこうと伝えている。先生を尊敬する、学校を大事にするというのではなく、教育の可能性を信じて子どもを育てていく。世の中全体を明るくい方向にもっていくという部分を考えたときに、「教育そのものへのリスペクト」を学校が訴えていくことが大事なのではないかと考えている。

- ・安全については、福祉避難所力を入れる。1市2町との協力も得て行う。
- ・専門については、本校は小学部1年生から高等部3年生が共に学ぶ学校なので、12年間のつながりをもって指導をしていく。地域学習におけるつながりも職員が見通しを持ちやすいような形態になっていくとよいと思っている。
- ・連携については、学校運営協議会の御助力御支援について、もっと周知の工夫が必要。地域への貢献という意識を忘れずにつながりを確かなものにしていこうと考えている。
- ・チームについては、業務分担に関して、職員は負担感という主観的な部分もある関係で、見直しを定期的に行っていく必要がある。一般企業ではどのように行っているか、お知恵を貸していただきたい。教員相互のリスペクトにつながる。
- ・簡単ではあるが、来年度について紹介させていただいたので、この後の協議に念頭に置いていただければと思うので、よろしくお願いします。

#### (4) 令和7年度学校運営協議会活動計画について（グループ協議）

- ・学校経営計画案に対する各委員からの支援について
- ・学校運営協議会の可能性について和7年度学校経営計画案について

#### <Aグループ>

- (委員) 商工会議所では、小学校や中学校の児童生徒が地域とのつながりを考えて、児童生徒を対象に職場体験や出前講座を行っている。仕事について、金融の話などを行っている。企業もいつか地域で働いてくれればと思っている。つなぎ役としてなることができる。
- (高等部) 現在、進路担当が求人情報等を見ながら、直接会社に行っている。つながりができればうれしい。
- (委員) 地域に貢献することは、難しい面もある。情報発信して、取り組みを依頼する。多すぎても困るけど。各自治会長との相談にもなるが、集会所を使うこともできる。清掃活動と一緒にやる、子育て相談をする、原東小学校の空き教室を借りる、子育て相談会を行うなどもできるかもしれない。
- (委員) 戸田地区では、保育園と幼稚園の共同幼稚園があり、空き教室は、地域の老人がデイサービスのように使っている。お年寄りも、小さいこと触れ合うと元気になる。
- (委員) 来年度、自治会は30周年である。いろいろな記念行事がある。その中でお願いしたいことがある。バッチをつくるなどのアイディアを応募したい。もう少し交流が広まれば、今は一部の人なので、交流が広がる。夏祭りは、紙相撲、バザーなど、学校で作ったものを景品にするとかある。
- (高等部) ノベルティーになりそうなものがあれば、取り組めることもある。
- (委員) チームの課題の話があった？ ここで求めているものは？
- (副校長) 時間削減できるICTの活用や仕事の進め方などであれば教えていただければありがたい。
- (委員) 部活動のお手伝いなどできる人を紹介してほしいなどのことです。

## <Bグループ>

- (委員) PTAとして、あまり学校運営協議会の認知がない。一般の保護者に認知していけるようにするには何ができるか？
- (委員) 話し合っている内容を知ってもらえる方法は？
- (委員) 保護者の意見が十分分かっていない。保護者同士がつながり、どう反映させていくのか考えていきたい。他の学校とは組織の在り方が違う。子どもたちのために動いているということを知ってもらいたい。小中高保護者同士も縦のつながりを持てればよい。  
ハンドベルの演奏会も、親と一緒に何かをやることで、子どもの違う側面を見る機会になった。  
奉仕的なことをしたいとの声を聞く。保護者が学校目に向け始めている。保護者にメリットがあるとよい。声が上がってきやすいルート作りが必要。  
就職に関しても、生徒ができることを知ってもらう、支援の仕方を企業に伝えることが必要。ライオンズはその点に力を入れている。将来的に繋げていきたい。学校がオープンになる。こういったことも、運営協議会発になるとよい。
- (委員) 学校運営協議会は、学校の課題がスムーズにいくようにする。地域の関わっている人にも縦のつながりを知ってもらう方法があるとよい。同じ人が関わっている活動はあるか？ 1つの内容について縦の成長を理解してもらえると力をもっていると実感してもらえる。  
教育課程の中で、話を横に繋げていく。地域清掃についても小中高でつながりを。先生と一緒にからテクニクへ。
- (委員) 学校側から発信をしてほしい。縦のつながりから横の広がりへつなげたい。交流を機に広げることができる。居住地を散歩したり、行事にでかけたりする。地域社会では、きつい目もあるが、広げていくことがよい。啓発活動も必要。楽しかった声をPTAのお便りに載せて紹介するのもいいのでは。  
広くアナウンスして広げていく。情報提供だけでもいいので、アナウンスしてほしい。
- (委員) 経営案は誰がみても良いもの。ホームページに出しているが見てもらえている？ 経営計画が、分かりやすいアニメやイラストもつけるなどして、子どもも保護者も分かるものになるとよい。ポイントだけでも分かりやすく伝えられるとよい。保護者の理解と協力が不可欠。
- (委員) 縦のつながりの議題があると、話し合える。保護者のニーズに合わせて。
- (小学部) 小学部は、保護者学習会をやっている。
- (委員) 1～6年のなかに中高の親にも協力してもらおうといい。高等部の親にもメリットがあるものになるとよい。

## <協議報告> (Aグループ)

- ・職場体験や出前講座のような形で学びたいことがあれば協力できるという話がでた。石原様と連絡を取っていく。
- ・コミュニティの場のように、地域の方とつながっていける場所があるとよい。戸田では、幼稚園や保育園の子が使っている地域で、デイサービスを利用している方が一緒に使っている活動がある。一緒に活動できるものがあるとよい。

- ・地域では、30 周年の記念行事がある。記念バッチを一緒に作る、記念交流をするなど、30 周年を盛り上げる活動ができるとよい。
- (校 長) 早速、職場開拓員さんに近々商工会議所に出向いてもらうようにする。

#### (Bグループ)

- ・地域とのかかわりを、もっとつながりを持たせていったらどうかという意見があった。種まき教室やさつまいも交流に、保護者も呼ぶことで、“子どもたちにこんな一面があるんだ” “こういうところでこういう風に人とのかかわることができるんだ” と保護者が気付く。さらに、保護者も呼んだ地域とのかかわりというところを縦につないでいく。12 年間という良さがある。例えば、中学部も、高等部も J Aの方が来てくれると、それぞれの学部の子どもたちと活動することで、「ここに通っている子どもたちってこういう成長をしていくんだ」「こんな素晴らしい面があるんだ」と J Aの方に知ってもらう機会にできる。地域の人、保護者も含めてつなげていく教育課程として見直していくと効果がでるのではという意見が出た。
- ・スポーツを教えたいなど、いろいろなところでいろいろな話を聞くことがあるという意見があった。学校運営協議会として、小さな声を拾って学校に伝えて具体的にしていく。
- ・先輩保護者の方に声を掛けて、小さい頃の話や困っていることの悩み相談などしてもらうなど、保護者同士も 12 年間のつながりを活かしていけるとよい。高等部の保護者にとっても、もう少し先の話が聞けるような場を設定するのもよいのではないか。

(委 員) 活発な意見交換ありがとうございました。

#### 4 学校関係者評価について（副校長）

- ・総合的に達成状況をみて評価をつけている。2/17 を目処に御意見をいただきたい。

#### 5 令和7年度の予定

- ・4回を予定している。

#### 6 閉会

(校 長) 充実した熟議ありがとうございました。学校運営協議会になったので、学校に対しては、関係者評価という立場から評価をいただくことにとどめ、副校長からお願いした形で御協力をお願いしたい。今日は、ワクワクするような話をたくさんいただいたので、さっそく動けるところは動き、御協力いただけたところについては御相談してやっていきたい。本日はありがとうございました。